

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立成瀬中学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 正しい漢字を選択することができる。 事象や行為を表す語句を十分理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発問に対する答えを探し出すこと。 条件に沿った作文を書くこと。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 等式を目的に応じて変形することができる。 簡単な場合について確率を求めることができる。 一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している。 グラフの傾きや交点について、事象に即して、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を、数学的に説明すること。 統合的・発展的に考え、事象に即して解釈すること。
質問調査	<p>人が困っているときは、進んで助けている。 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。</p> <p>人の役に立つ人間になりたいと思っている。 自分には、よいところがあると思っている生徒が多い。 友達関係に満足している生徒が多い。</p>	<p>携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている生徒がほとんどだが、守っていない生徒もいること。</p> <p>健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えてもらったことを、普段の生活に役立てる意識が低い生徒がいること。</p>

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

【国語】

・漢字の読み書きはできるが、文脈から内容を読み取ったり、根拠をもって説明したりする力をつけられるよう指導していく。

【数学】

・基礎問題は解くことができるが、応用問題となると手が止まる生徒が多い。また、思考・判断・表現を苦手とする生徒が多い。そのため、日頃から課題解決するために考える力、伝える力を育む授業づくりに努める。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

日頃より、学校の活動にご理解、ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。ほとんどの生徒が、いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えているので、引き続き良心的な考えを伸ばしていきましょう。人が困っているときは、進んで助けることなど、人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒が多いです。この気持ちを活かしつつ、地域や社会をよくするために何ができるのかなど具体的に考えることができるようにしていきましょう。